

都内におけるサステナブル・ツーリズム及び  
SDGs スタディツアーの実態調査  
(都内区市町村・観光協会へのアンケート)

結果詳細

目 次

<b>A:サステナブル・ツーリズムの取組状況</b> .....	2
1. サステナブル・ツーリズムの理解度 .....	2
2. サステナブル・ツーリズムの実現に取り組む必要性 .....	3
3. サステナブル・ツーリズムの実現にむけた取組状況 .....	5
4. サステナブル・ツーリズムを進めていく上での課題 .....	6
<b>B：地域のSDGsを学べる地域資源・コンテンツ等</b> .....	7
1. SDGsを学べるコンテンツ・地域資源 .....	7
1-1.地域に存在するもの .....	7
1-2.特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの .....	8
2. SDGsを学べるコンテンツや資源を活用したイベント等（スタディツアーやワークショップなど）の実施実績 .....	11
2-1.イベントの実施実績 .....	11
2-2.イベントの対象 .....	11
2-3.イベントの所要時間 .....	12
2-4.イベントの実施主体 .....	12
2-5.実施事例 .....	12

本資料は、「地域のサステナブル・ツーリズム推進事業 調査結果報告書」P.7～9 記載の「①都内におけるサステナブル・ツーリズム及びSDGsスタディツアーの実態調査 (1)都内区市町村・観光協会へのアンケート」の結果詳細です。

### 【実施概要】

- ✓ 調査対象： 都内 62 地域の自治体の観光政策担当部署（23 区、26 市、5 町、8 村）及び観光協会（60 団体）
- ✓ 調査方法： アンケート
- ✓ 調査時期： 令和 4 年 5 月 17 日～31 日
- ✓ 回 答 数： 55 地域（地域網羅率 88.7%）

【内訳】	回答数
自治体	40
観光協会	29

※地域の重複あり

### 【調査結果】

#### A:サステナブル・ツーリズムの取組状況

##### 1. サステナブル・ツーリズムの理解度

設問 1. サステナブル・ツーリズムについての理解度はどのくらいと認識していますか？（1つだけ選択）

- 全体の約 8 割が「意味や内容をよく知っている」(4.4%)「大まかな意味や内容は知っている」(72.1%) と回答した。

	回答数	%
意味や内容をよく知っている	3	<b>4.4%</b>
大まかな意味や内容は知っている	49	<b>72.1%</b>
言葉は聞いたことがある	13	19.1%
全く知らない	3	4.4%
合計	68	100.0%

76.5%

2. サステナブル・ツーリズムの実現に取り組む必要性

設問 2. 貴地域において、サステナブル・ツーリズムの実現に取り組む必要性を感じますか？またその理由を教えてください。(1つだけ選択)

- 全体の約 8 割がサステナブル・ツーリズムの実現に必要性を感じていると回答した。  
「非常に感じる」(35.3%) 「やや感じる」(42.6%)

	回答数	%
非常に感じる	24	35.3%
やや感じる	29	42.6%
あまり感じない	15	22.1%
合計	68	100.0%

} 77.9%

上記のように感じる理由 (記述回答)

非常に感じる	区部	持続可能な観光を実施していくことは、観光産業が発展していくうえで重要なため
		観光資源を守りつつ観光客とともに魅力を引き出し必要性を感じる
		旅行者から選ばれ続けるためには、持続可能な観光地である必要があるため
		サステナブル・ツーリズムへの関心の高まりに対応していく必要があるから
		ハロウィンなど、短時間に局所的に来街者の集中する場合、人や地域の安全の確保に課題を感じるため
		・地域に根付いたお祭りやイベントが多く存在し、その芸能・文化や商店街等を含めた街全体の保全・継承が重要だと考えるため ・区では日本で最もアニメ制作会社が集積する地域として、「アニメ」を総合的に学べる体験施設を有しており、「アニメ」による地域ブランディングを目指しているため
		環境や自然に配慮しないと、環境汚染や自然破壊が起こり、観光産業を持続的に行うことができない 現在の環境や自然を維持しながら観光産業を続けていくためにもサステナブル・ツーリズムが必要と感じる
	2021年度に「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定されており、区を挙げてSDGsの推進・普及啓発に力を入れていることから、地域の観光振興事業の推進役としての機能を担う当会としても、行政と共にこの取り組みを推進していくことが必要であると考えている	
	多摩	現在、村ではエコツーリズムを実施しているが、自然を生かした交流・体験型ツアーを行っていることにより、高い満足度とリピート率の高さにつながっている その為、持続可能で次回参加意向の強い方々が多くなるような未来への観光と環境づくりが必要と考えるため
		自然が多いことが魅力のため、その魅力を壊さずより魅力的な街づくりをしなければいけないため
		豊かな自然、歴史や地域に根差した文化を再認識すること 観光地としての商業化を目指すのではなく、豊かな自然環境が最大の観光資源であることを再認識したい
		私自身理解不足です
		昨今、SDGsを学べる教育プログラムに注目が集まっており、校外学習や修学旅行を通じてSDGsへの取組を学ぶ機会が増えてきている 本市においても、市の観光資源をSDGsや体験・学びといった切り口で捉え直した、ストーリー性のある観光コンテンツへとブラッシュアップを行い、市の魅力を広く発信していく必要があると考えている
		自然環境豊かなフィールドであるため また登山道関係など、以前から対応などは問われている
		豊かな自然環境が観光資源である地域にとって、地球や社会に負担の少ない、持続可能な観光という視点が非常に重要であると考えています
ブームや一過性の観光資源のみでの対応ではなく、地域の特性や根ざした資源を活用し、持続可能、安定、発展を考えているため		
島しょ	本市は、ビジョン実行計画で策定した各施策を通じて、持続可能なまちづくりを進めているため	
	今後愛される観光地づくりをおこなっていくには、必要不可欠な取組だと認識している	
	「持続可能な観光」については、まだ広く知られている概念ではないが、今後少しずつ普及していくと考えている そのため観光施策を進める中で取り入れるべき視点であると考えている	
	当市においてもフェスティバルイベントでコロナ禍前に、オーバーツーリズムが発生、存続の危機に立たされた経緯がございます 観光の方だけでなく、地域の関係者のことを考え、両者にとってプラスになるサステナブル・ツーリズムの考え方は、とても重要と考えます	
	来島者の多くは、リピート客が占めていますが、小さい頃にちびっ子体験等で島に来た記憶が大人になっても色濃く残り、今度は自分の子供を連れて行く方がとても多く、小さい時の海がきれい・自然が豊かなど都内では味わえない体験が出来るのがよく、コンパクトアイランドならではの移動時間も少なく、島を巡ることが出来るのが強みです 他の理由が沢山あるので、是非お話しさせていただければ幸いです	
東京諸島の各島には温泉施設を含む、行政が所有している観光施設が多い特徴があります そのいずれもが老朽化しており、受入れ整備の充実のためには、サステナブルな取り組みの必要性を感じています		
富士箱根伊豆国立公園・星空保護区ダークスカイ・アイランドとして、サステナブルアイランドに適していると思うから		
当地域ではエコツーリズムを基軸とした観光振興を实践しており、今後も継続していく方針のため		

やや感じる	区部	今後、持続可能な観光への関心が高まるため
		SDGsという観点からも必要なことだと考えます
		持続可能でない観光は、自然や文化、伝統、そこに暮らす人々をおびやかすから
		オーバーツーリズムにならない配慮や仕組みづくりと地域に受け入れられる来訪者の環境づくりは必要と感じている
		自治体としてSDGsの達成は重要課題であり、また観光のトレンドとなっていることも認識しているが、本区の観光資源を考慮した際に、この取組に資する資源が現状乏しいためやや感じるとする
		コロナ禍以前、外国人ツアーバスなどで混雑し、交通の妨げとなって地域の負担となっており、地域の観光への受け入れ態勢が課題だと感じていた
		都市農業を振興し、多面的な機能を持つ都市農地を保全していくため
		伝統文化を継承・保存しつつ誘客を図る必要があるため
		昔ながらの地場産業である「染色」は全盛期に比べると規模が縮小しているが、歴史ある文化として観光客への情報発信を行うことで未来に向けて文化の保存に繋がると考えるから
		時代のニーズに合った臨機応変な対応が必要と感じるため
	当区においてはオーバーツーリズムやマスマツリズムの影響は大きくないが、サステナブル・ツーリズムの有意性は高いと認識している	
	特定の時期に集中して観光客等が多くなる時期に、環境に対して持続可能な取り組み、地域経済に影響する取り組みを、継続的に行っていくには、難しいと感じているため	
	豊かな自然環境そのものをコンテンツとする地域と都市部とでは、具体的な対応策が異なってくるのではないかと想定される 当区では、いわゆるオーバーツーリズムのような混乱は現時点では発生していないが、SDGs未来都市として、経済、社会、環境に配慮した観光施策を総合的に展開していく必要があるため	
	多摩	既存の観光資源が潤沢ではないので、本市の特色である「深層地下水100%水道水のまち」などを観光面でも活かすことができると好ましい
		必要性は感じるが、観光地ではないためオーバーツーリズムにはなりにくい
地域の賑わい創出は大切であるが、あわせて自然環境の保全の観点もあわせ持つ必要がある		
市民や近隣市の住民が主要なターゲットである		
史跡をいつまでも良好な状態で維持するために観光地周辺の環境への配慮の必要性を感じている		
地球温暖化の問題 集中豪雨や高温などといった異常気象を引き起こすなど、各国で深刻な影響が出ている 山や川など災害が起こると甚大な被害が想定され観光に携わる事業所の経済損失を食い止める必要がある		
興味があるため		
必要性は感じているが、当市が観光地ではないため		
高尾山をはじめとする豊かな自然環境が本市の観光資源としての魅力であり観光地本来の姿を次の世代に残していく取り組みは必要		
近年、SDGsという言葉聞く機会が多くなっている中、観光行政においても持続可能な取組を検討していく必要があると考えるため		
これまで、積極的、意識的には取組んでいなかったため		
島しょ	これまで、の観光受け入れのままでは将来の観光地としての受け入れに限界が生じるのも速くはないと思います。エコツーリズムとともに今後の観光受け入れの課題として進めるべきではないかと思えます	
	サステナブルな観光が地域の自然環境や文化、伝統などを守るのに資するなら、そちらのほうが住民のため、地域のためになるため	
	現在の環境状態を維持しつつ、持続可能な観光産業とするため、観光地の開発や資源の使い方を考えることが必要だと感じる	
	噴火等の災害により幾度となく地域の事業がリセットされてしまい、今後においてはそれらを加味しながらの持続可能な観光事業を構築したい	
あまり感じない	区部	サステナブル・ツーリズムに関連するコンテンツの洗い出しが不十分なため
		コロナ禍での観光イベントのあり方について検討する方が優先度が高いため
		地域の自主性に委ねる部分が多いと考えるため
		標題に関する特段の課題を把握していないため
	多摩	行政としてツーリズムについて積極的に推進していない
		観光客によるごみの散乱や環境破壊などはあまり見受けられず、サステナブル・ツーリズムにそこまで取り組まなくても問題がなさそうだと感じるため
		マンパワーが無い
		現状で取り組むための余力もないため
		実施している取組項目もあるが、持続可能な観光を目的としている認識は薄いため
		観光資源が乏しいため
島しょ	当市ではオーバーツーリズムが生じていないから	
	具体的な取り組みが不明瞭のため	
	「サステナブル・ツーリズム」の実現に向けて、具体的に取り組むべき事項が現状不明瞭なため	
	持続可能な社会を構築していくことは必要だが、当地域ではあまり感じないです	

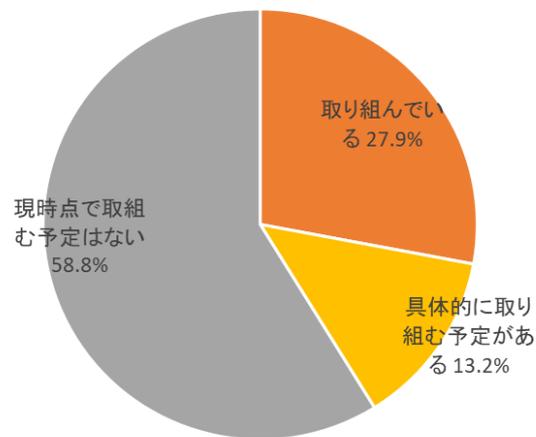
※回答内容を一部加工済み

### 3. サステナブル・ツーリズムの実現にむけた取組状況

#### 設問3. 貴地域では、サステナブル・ツーリズムの実現に向けて取り組んでいますか？（1つだけ選択）

- 全体の約6割が「現時点で取組む予定はない」（58.8%）と回答した。
- 全体の約4割が「取り組んでいる」（27.9%）「具体的に取組む予定がある」（13.2%）と回答した。

	回答数	%
取り組んでいる	19	27.9%
具体的に取組む予定がある	9	13.2%
現時点で取組む予定はない	40	58.8%
合計	68	100.0%



**設問3-① [設問3] で「取り組んでいる」「具体的に取り組む予定がある」と回答した方にお伺いします。具体的な取組（予定）内容を教えてください。（複数選択可）**

- 最も多かったのは「地域ならではの体験コンテンツ等の開発・販売」(23.5%)だった。次に、「旅行者向けのマナー啓発」(16.2%)、「文化財保護や自然環境保全活動」(16.2%)、「地産地消や食品ロスへの取組」(16.2%)も多かった。

	回答数	%
地域ならではの体験コンテンツ等の開発・販売	16	23.5%
旅行者向けのマナー啓発	11	16.2%
文化財保護や自然環境保全活動	11	16.2%
地産地消や食品ロスへの取組	11	16.2%
ガイド教育	9	13.2%
計画策定・改定	8	11.8%
モニタリング・調査	8	11.8%
行政・企業・大学等が連携した取組	7	10.3%
混雑・オーバーツーリズム対策	4	5.9%
環境に配慮した旅行の推進（移動時のCO2対策、プラスチックの削減等）	4	5.9%
アクセシビリティへの対応	4	5.9%
自治体・協会等職員の知識習得（セミナー参加、各種ガイドラインや認証制度の勉強等）	3	4.4%
アドバイザーや専門家への相談	3	4.4%
地域の事業者や住民へのセミナー・イベント・相談会等	2	2.9%

※各パーセンテージは、各項目を選択（複数選択可）した人の割合を表す。

**4. サステナブル・ツーリズムを進めていく上での課題**

**設問4. 貴地域において、サステナブル・ツーリズムを今後進めていく場合、現時点で特に課題となることを教えてください。（複数選択可）**

- 「ガイドの教育や人数が十分でない」(44.1%)に続いて「旅行者のマナー（ごみのポイ捨て・落書き・マスク等のルール違反等）」(39.7%)、「地域ならではの体験コンテンツ、特産品開発ができていない」(38.2%)が多かった。
- 「実現にむけて何をすればよいか分からない」(29.4%)という回答も多かった。

	全体		内訳		
	回答数	%	区部	多摩	島しょ
ガイドの教育や人数が十分でない	30	44.1%	6	17	7
旅行者のマナー（ごみのポイ捨て・落書き・マスク等のルール違反等）	27	39.7%	13	8	6
地域ならではの体験コンテンツ、特産品開発ができていない	26	38.2%	11	12	3
観光地としての認知度が低く、誘客に苦戦している	22	32.4%	6	11	5
お土産購入など地域の消費拡大に繋がっていない	22	32.4%	5	15	2
伝統や文化を観光客にPR、周知できていない	21	30.9%	5	10	6
サステナブル・ツーリズムの実現に向けて何をすればよいか分からない	20	29.4%	8	9	3
特定の観光スポットや施設、道路が混雑している	16	23.5%	9	7	0
伝統や文化を十分に保全、継承できていない	11	16.2%	5	1	5
住民や観光協会、観光関連事業者が一体となって取り組めていない	11	16.2%	3	4	4
地域での地産地消や食品ロス削減が進んでいない	7	10.3%	1	3	3
観光が地域の自然環境に悪影響を与えている	5	7.4%	1	4	0
地域や住民が観光客の受入れに前向きでない	5	7.4%	2	1	2
サステナブル・ツーリズムのメリットを感じていない	4	5.9%	2	2	0
その他	7	10.3%	2	5	0

※各パーセンテージは、各項目を選択（複数選択可）した人の割合を表す。

**B：地域のSDGsを学べる地域資源・コンテンツ等**

**1. SDGsを学べるコンテンツ・地域資源**

1-1.地域に存在するもの

設問5. SDGsを学べるコンテンツや地域資源（現時点では観光用に提供・実施していないものであっても可）の Kategoriiのうち、貴地域に存在するものをすべて教えてください。（複数選択可）

- 存在する地域資源として426件の回答があった
- 「歴史的資源（建造物、遺跡等）」（49回答）が最も多く、次に「自然（景観、体験、アクティビティ、生態系保護の取組等）」（47回答）、「無形文化（芸能・方言・祭り・風習・生活の知恵等）」（43回答）が多かった。

	全体		内訳		
	回答数	%	区部	多摩	島しょ
歴史的資源（建造物、遺跡等）	49	72.1%	17	26	6
自然（景観、体験、アクティビティ、生態系保護の取組等）	47	69.1%	11	27	9
無形文化（芸能・方言・祭り・風習・生活の知恵等）	43	63.2%	16	19	8
地域コミュニティ（商店街、サークル活動等）	39	57.4%	18	18	3
農林水産業（農業・林業・漁業体験、収穫体験等）	33	48.5%	4	22	7
食文化（郷土料理、地産地消のメニュー等）	31	45.6%	11	14	6
有形文化（伝統工芸品、絵画等）	30	44.1%	17	11	2
地場産業（企業の見学、特色ある町工場の存在等）	29	42.6%	13	15	1
文化の保護・継承の取組	29	42.6%	13	12	4
交流・対話（生産者・職人と対話、地元の人との交流、ホームステイ等）	24	35.3%	8	11	5
廃棄物・リサイクル対策（廃棄物削減、ゴミ拾い体験等）	22	32.4%	5	12	5
空き家・古民家・廃校の活用	20	29.4%	8	9	3
省エネ・再生可能エネルギーについての取組（環境配慮型施設、環境先進企業、環境に配慮した交通等）	17	25.0%	7	7	3
観光公害防止への取組（混雑対策、光害対策等）	10	14.7%	4	4	2
その他	3	4.4%	2	1	0

※各パーセンテージは、各項目を選択（複数選択可）した人の割合を表す。

1-2.特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの

**設問5-①. 上記で選択したカテゴリーの内、SDGs を学べるコンテンツ・地域資源として、特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの（現時点では観光用に提供・実施していないものであっても可）を具体的に教えてください。（最大3つまで）**

- 特に活用していきたい地域資源として100件が挙げられた。
- 「自然」（31回答）が最も多く、次に「歴史的資源」（16回答）、「食文化」（9回答）が多かった。

	存在する	活用したい
歴史的資源（建造物、遺跡 等）	49	16
自然（景観、体験、アクティビティ、生態系保護の取組 等）	47	31
無形文化（芸能・方言・祭り・風習・生活の知恵 等）	43	7
地域コミュニティ（商店街、サークル活動 等）	39	4
農林水産業（農業・林業・漁業体験、収穫体験 等）	33	6
食文化（郷土料理、地産地消のメニュー 等）	31	9
有形文化（伝統工芸品、絵画 等）	30	6
地場産業（企業の見学、特色ある町工場の存在 等）	29	6
文化の保護・継承の取組	29	1
交流・対話（生産者・職人と対話、地元の人との交流、ホームステイ 等）	24	3
廃棄物・リサイクル対策（廃棄物削減、ゴミ拾い体験 等）	22	5
空き家・古民家・廃校の活用	20	1
省エネ・再生可能エネルギーについての取組（環境配慮型施設、環境先進企業、環境に配慮した交通 等）	17	1
観光公害防止への取組（混雑対策、光害対策 等）	10	2
その他	3	2
合計	426	100

[エリア別 詳細]

エリア	特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの	概要
区部	地場産業	産業振興事業者と連携し、着地型産業観光ツアーを造成・販売することで、産業活性化を目指す。
	地域コミュニティ	雨水利用や防災対策
区部	有形文化	功績を讃えて1925年に制作された洪沢栄一像
	農林水産業	植物園に、主に子どもたちを対象に農業体験の場を提供する農業体験園を増設した。
区部	空き家・古民家・廃校の活用	旧中山道沿いの、築100年旧米屋商家を後世に伝えるスポットとして活用している。
	食文化	文化資源である屋形船で地産地食の食材を使ってメニューを紹介することで、文化資源や歴史、食文化の魅力を伝えるツアー
区部	有形文化	現代マンガ・アニメの礎を築いた巨匠が住み集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパートを再現したマンガミュージアムを整備した。
	その他：体験型マイクロツーリズム	街のシンボルとして真っ赤な電気バスが路線運行している。このバスを使い、区では、土日を中心に、午前東コース、午後は西コースとして、区内に散在する魅力的な文化観光スポットを巡るツアーを実施している。同行する添乗員が区の地理的背景、歴史的背景、最新のスポットをおもしろおかしく紹介し、好評を博している。
	その他：文化によるまちづくり	野外劇場を拠点に、本格的なクラシックコンサートを原則毎週水曜日夜間に開催し、国際文化都市として、クラシック音楽によるまちづくりを行い、街のイメージアップを図っている。
区部	自然	河川敷で行うデイキャンプ等のイベント
	歴史的資源	当地域に縁のある洪沢栄一をフィーチャーしたPRプロジェクト
区部	交流・対話	ゴミ拾いウォークラリー
区部	歴史的資源	坂道
	自然	運河
区部	自然	舟運観光事業の一環としての港湾河川清掃活動
区部	有形文化	(詳細記載なし)
区部	食文化	深川めし
区部	観光公害防止への取組	ハロウィンマナー啓発フラッグ作成
区部	地場産業	染色産業
区部	無形文化	お祭り
	文化の保護・継承の取組	アニメーションミュージアム
区部	歴史的資源	城周辺の史跡
	無形文化	お祭り
	地域コミュニティ	商店街の事業
区部	地場産業	伝統工芸等、各種体験事業
	歴史的資源	歴史的建造物・寺社仏閣等
区部	自然	水辺の資源（臨海部及び河川等）の活用
	無形文化	海苔の資料館を活用した海苔つけ体験
	地場産業	町工場での職人との触れ合い体験
区部	地域コミュニティ	問屋街・老舗をめぐるまち歩きを実施
区部	歴史的資源	文豪にゆかりのある建造物等を生かした取組
区部	農林水産業	農業フェスティバルなど

団体	特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの	概要
多摩	自然	エコツーリズムの推進
	歴史的資源	(詳細記載なし)
多摩	自然	梅、桜、ぼたん、バラ、ハス、紅葉などの花やみどりの活用
	交流・対話	里山にある休憩所における地元の人との交流
	廃棄物・リサイクル対策	首都圏発のバイオガス化施設の活用
多摩	地域コミュニティ	SDGsに配慮した店づくりを行っている市内の店舗
多摩	自然	溪谷
	有形文化	(詳細記載なし)
	地場産業	(詳細記載なし)
多摩	歴史的資源	文化的景観に選定されているのでエリアの見守りをしている。
多摩	自然	東京都内とは思えないほどの豊かな自然環境が地域資源である当地域にとって、観光産業は自然への負担となることもある。(ゴミのボーイ捨て、山野草の盗掘、バーベキュー等による河川の汚染など。) そのため、当地域の自然がどのような状態で、どのような動植物が生息し、人間社会とどのように関わっているのかを理解したうえで今後も地域住民及び観光客が自然の恵みに感謝し大切にできるよう、豊かな自然環境の保全と両立した観光産業を発展させていきたい。
	歴史的資源	鉄道廃線探検(廃止後、湖への導水路として現在でも活用されている。)
多摩	自然	約370年前に開削され、現在でも都民の飲料水や武蔵野台地を潤す上水路
多摩	自然	国立公園

団体	特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの	概要
多摩	自然	溪谷、温泉郷、梅郷、宿場町など
	食文化	(詳細記載なし)
	歴史的資源	(詳細記載なし)
多摩	歴史的資源	飛行機製作所などの戦争遺跡
	廃棄物・リサイクル対策	クリーンセンターを活用した見学施設
多摩	食文化	ホップの栽培・収穫体験プロジェクト
多摩	自然	国営公園
多摩	自然	山間部における持続可能な観光まちづくり事業計画策定を実施中
	歴史的資源	日本遺産認定ストーリーを活用したい。
	食文化	とろろそば
多摩	歴史的資源	国分寺跡 国史跡指定100周年事業
多摩	食文化	地産キウイを使用したワイン
多摩	農林水産業	都民農園
多摩	無形文化	郷土芸能まつり
	歴史的資源	郷土資料室
多摩	有形文化	達磨
	自然	カタクリ園
	無形文化	夏祭り(神輿)
多摩	自然	当地域の北部に位置する河川流域においては、自然が多く今も残り、カワセミなどの珍しい野鳥も生息しており、これに伴う様々なイベントを実施しました。
	食文化	郷土博物館においては、当地域の伝統であるうどん打ち等を教える先人の知恵講座を実施してきました。また、当自治体は市内全域において、農業が盛んに行われているため、市内散策&直売所マップを作成し、市の農業及び直売所のPRすることで、地産地消及び農業振興推進をしている。
	観光公害防止への取組	夏時期に実施するひまわりフェスティバルについては、近年10万人を超える来場者がお越しになり、会場付近において交通渋滞が発生し、混乱が起きました。これに対し、無料シャトルバスの増便、公共交通機関のご来場のアナウンス、専用駐車場の撤廃とし、それでも車で来場した方には、臨時無料駐車場を用意し、チラシ等で誘導をかけ対策にあたりました。この対策をした直近開催のひまわりフェスティバルにおいては、駐車場周辺においての目立った交通渋滞はなく、一定の成果を上げました。
多摩	廃棄物・リサイクル対策	リパーククリーンアクティビティ
多摩	自然	当市は都内でも公園面積が大きい方なので、公園を活用していきたい。
多摩	自然	東京都で唯一「平成の名水百選」に選ばれた湧水、豊かな緑
多摩	歴史的資源	寺の地蔵堂
	農林水産業	都市近郊農業(農業体験)
	食文化	(詳細記載なし)
多摩	自然	湖やその周辺自然环境
	歴史的資源	戦災建造物
	廃棄物・リサイクル対策	企業と連携したペットボトルや使用済みプラスチックの回収・再生事業等
多摩	自然	上水路、公園、里山など
多摩	自然	当地域の自然は地域資源として割合が大きいものであるが、その整備向上やより魅力的な事業の創出が可能であると考えるため今も力を入れているが、より力を入れたいと考えている。
多摩	歴史的資源	新選組資料館
多摩	自然	山間地域を代表とする自然環境
	農林水産業	農業体験・畜産体験
	地場産業	機織り体験・工場見学
多摩	無形文化	神社例大祭
多摩	自然	多摩川、上水路

団体	特に取り上げたい・力をいれていきたい・活用していきたいもの	その具体的内容や参考となるURLなどを教えてください。
島しょ	自然	海→ダイビングが盛んな当地域では、小学生後半からスキューバライト(タンクを背負わないダイビング)が出来るのですが、海の中は地上よりも生態系の変化が著しく、綺麗な魚が住み続けるためには?子供たちの知恵が欲しい。 森→遊歩道が整備されているので、森林浴が楽しめる。 その他→自然を守る活動を行いたい。
	交流・対話	教育旅行に力を入れていく流れが起きていて、学校の校長先生の理解がとてもあり、学校とお子様との意見交換の場や、子供たち同士の意見交換など行いたい。
	省エネ・再生可能エネルギーについての取組	当地域では、環境にやさしい電気自転車主軸となっているが、近年電気自動車の普及率が大幅に増え、スーパーカーの様な電気自動車にも乗ることが出来る。(要普通免許 2人乗り) また、ゴミを拾いながらゲームが出来るジオキャッシュも体験できる。
島しょ	自然	火山噴火景観維持の維持や植生などの在来種保護(ゴール15)
	廃棄物・リサイクル対策	全国でもトップレベルの水質を誇る島内の海水浴場が海洋ゴミで年々汚れており、ビーチグリーンを実施(ゴール14)
島しょ	自然	エコツーリズムの推進、ホエールウォッチング、島の自然、周辺諸島の利活用
	食文化	焼酎、くさや、明日葉、うみかぜ椎茸、レモン、ジャージー牛乳製品
	有形文化	織物
島しょ	自然	生態系保護の取り組み
島しょ	自然	ビーチ
島しょ	自然	火山
	自然	星空保護区に認定された星空
島しょ	無形文化	豊漁祈願
島しょ	自然	ジオパーク
島しょ	自然	星空保護区に認定された星空
島しょ	農林水産業	椿産業

※回答内容を一部加工済み

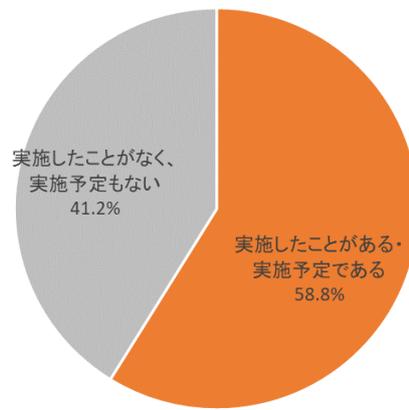
## 2. SDGs を学べるコンテンツや資源を活用したイベント等（スタディツアーやワークショップなど）の実施実績

### 2-1. イベントの実施実績

**設問 6. 貴地域では、上記で選択したコンテンツや資源を活用したイベント等（スタディツアーやワークショップなど）を実施したことがありますか？**

- 約6割が「実施したことがある」と回答した。

	回答数	%
実施したことがある・実施予定である	40	58.8%
実施したことがなく、実施予定もない	28	41.2%
合計	68	100.0%



### 2-2. イベントの対象

**設問 6-①. 実施したイベント等の対象者を教えてください。（複数選択可）**

- 「旅行者全般（特に対象は設けていない）（39.7%）」が最も多く、「地域の住民向け（33.8%）」「小学生・親子・家族連れ向け（22.1%）」が多かった。

	回答数	%
旅行者全般（特に対象は設けていない）	27	39.7%
地域の住民向け	23	33.8%
小学生・親子・家族連れ向け	15	22.1%
社会人向け	8	11.8%
中高生向け	6	8.8%
大学生向け	6	8.8%
外国人向け（インバウンド向け）	5	7.4%
趣味の会（同好会）向け	1	1.5%
その他	2	2.9%

※各パーセンテージは、各項目を選択（複数選択可）した人の割合を表す。

2-3. イベントの所要時間

設問 6-①. 実施したイベント等の所要日数・時間を教えてください。(複数選択可)

- 「半日程度 (33.8%)」が最も多かった。次いで「1～2時間程度 (26.5%)」が多かった。

	回答数	%
1～2時間程度	18	26.5%
半日程度	23	33.8%
終日	11	16.2%
宿泊	2	2.9%

※各パーセンテージは、各項目を選択(複数選択可)した人の割合を表す。

2-4. イベントの実施主体

設問 6-②. イベント等の実施主体を教えてください。(複数選択可)

- 「観光協会 (35.3%)」が最も多かった。次いで「自治体 (23.5%)」が多かった。

	回答数	%
観光協会・商工会等	24	35.3%
自治体	16	23.5%
旅行会社以外の民間企業	8	11.8%
その他	6	8.8%
旅行会社	3	4.4%

※各パーセンテージは、各項目を選択(複数選択可)した人の割合を表す。

2-5. 実施事例

設問 6-③. 実施したイベント等について、その具体的内容や参考となる URL などを教えてください。

- 27 地域から事例が挙げられた。

エリア	概要
区部	河川敷を活用したイベント(グランピング・サウナカー・焚火などのキャンプ体験をはじめ、電動サーフボード、災害対策支援船乗船体験・音楽ステージなど、子供から大人までが楽しめるイベント)
	地域資源発掘型プログラム事業に申請中
	カルチャーツーリズム(職人の伝統工芸作成の模様撮影ツアー、商店会会長との商店街見学ツアー、地下鉄とその沿線の歴史・文化、街並みの散策ツアー)
	・エコミュージアム ・江戸をテーマにした街歩きツアー ・各種日本文化体験(着物着付け・書道・折り紙)
	・雑貨やカフェ、史跡、商店街等を巡った後、阿波踊りを体験するイベントに参加する街歩きツアー(モニターツアー)を実施した。 ・当自治体にあるアニメに関連するスポット(アニメ聖地など)を巡った後、アニメーションミュージアムでアニメの仕組みを学び、実際に製作体験を行う街歩きツアーを実施した。
	製造工程の見学やモノづくりの体験ができる工場・工房である「モノづくり見学・体験スポット」をイベント会場に集め、展示・販売・実演の他、お客様自身が製作体験をできるイベント。 ・宿場町と商店街の歴史の変遷をテーマにした講義 ・有形文化財の保存・利活用
	観光庁による「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に応募し、区内の産業集積を活かした着地型産業観光ツアーのモデルツアー及びオンラインツアーを実施した。

多摩	後北条時代からの伝統を誇る護摩修行など
	地域で継承されてきた伝統文化が一同に集まり披露される郷土芸能の祭典
	江戸野菜（在来作物）のプランター栽培講習会
	祭りの魅力をイラストレーター、学芸員、アナウンサーの立場から語るオンライントークショーを開催した。
	ブース出店による販売
	・人気マスコットが参加するピクニック ・総合公園でのロゲイニング
	まちあるきツアー
	史跡指定100周年に係るイベント開催（オープニングイベント、記念講演会、湧水園の無料公開、なぞときビンゴ）
	仏舎利塔特別見学会
	日本遺産構成文化財「火渡り祭」
	スイーツの食べ歩きイベント
	体験学習
	日本遺産ツアー
	リバークリーンアクティビティ
環境保全フェスティバル	
戦争遺跡を巡る散策ツアー	
島しょ	・ジオキャッシング（GPSをつかった宝探し&環境保全活動） ・高い普及率の電気自動車 ・小学生後半から体験できるスキューバーライト（タンクを背負わないダイビング）
	・島の気候を生かした椎茸の栽培 ・江戸時代に玉石で造られた陣屋跡 ・あしたば、くさや、島とう醤油
	星空保護区に認定された星空を活用したガイドツアー
	染色を軸に街の活性化を目指すプロジェクト
	旅行者も参加できるビーチクリーンイベント

※回答内容を一部加工済み

(以上)

<発行元>

公益財団法人東京観光財団 地域振興部事業課

【住所】〒162-0801 東京都新宿区山吹町 346 番地 6 日新ビル 2 階

【電話】03-5579-2682

<事業委託先>

近畿日本ツーリスト株式会社 公務営業支店

【住所】〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町 1-13 住友商事神田和泉町ビル

【電話】03-6891-9305